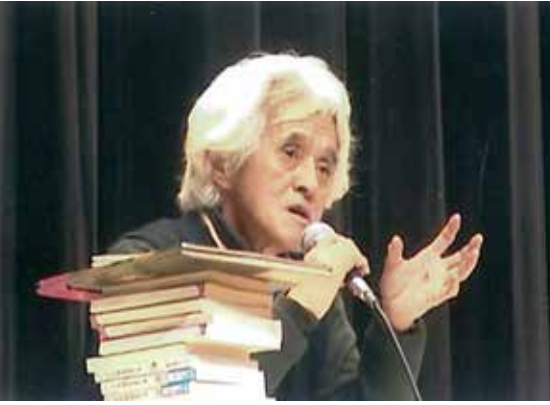


コープリハビリテーション病院・老健あかねだより

コープリハビリテーション病院は、川崎医科大学附属病院と倉敷中央病院との連携病院です。



志賀兼允理事

「弱きをくじき、強きを助け、私に淋しくなったこの国で、私はコープリハビリテーション病院・老健あかねで働く若者に大きな感動を覚えています。と申しますのも、若い職員達が高齢の入所者へ過去に對して先輩の生きざま（競争体験等）に真摯に接し、丁寧に聞き取り、コープリハビリテーション病院・老健あかねだよりで文字として表現している姿です。

今、時代は人間的関係性の希薄さからくる淋しさにより、不安・不信・絶望の危機に陥っています。あらゆる人々は人間的な関係の光り輝く社会の中で、幸い多き日々

しかし職員ひとり一人の関わりを見ていくと、見てくれば以上に地域に信頼される施設になることうけあい！と大きな期待を寄せています。

コープリハビリテーション病院・老健あかねに期待すること

倉敷医療生協 理事 **志賀 兼允**



天空からみた病院・老健複合体の全容

を願い、「生きて今ここに在ることに誇りを持つて」まさに人間的復権の果たせる居心地のいい平和で安逸をもたらし社会に生きたいと願っています。その意味で、今求められている事は「不安を安心に、不信を信頼に、絶望を希望に」満ちた、温かくしなやかな人

「弱きを助け、強きをくじく」新しい希望を切り開く時代風景が、未来を生きる若者達を核にしながらコープリハビリテーション病院・老健あかねで実現していくことを願うものです。



離床がすすまない患者へのADL向上プラン
（介護福祉士による日中デイの試み）

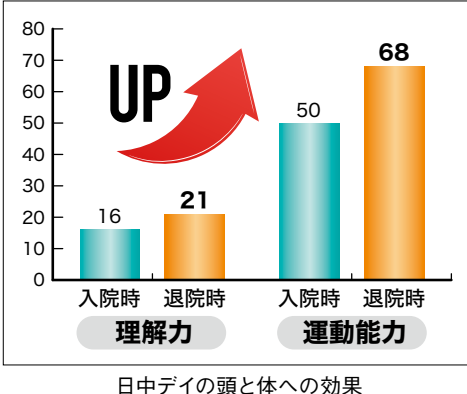
2016年度介護職研修会発表報告

出口さおり 2016年11月27日 岡山県民医連

新築見学会のお知らせ

2017年1月21日(土) 15~17時

どなた様も、ご自由にお越しください。



今回の発表では、他施設の方にも興味を持って頂けたようので、質問や共感の声がありました。これからも「日中デイ」を継続し、介護福祉士として共に達成した喜びを味わい、在宅復帰や生活リズムの改善に努めていきたいです。

入院や入所に際して、部屋代はいただいません。

何もかもはじめて教わる

肩のリハビリ

藤田さん 64歳 女性

突然の左肩の激痛

私は、若い頃から家業の手伝いで重い荷物を持つことが平気でした。それが、去年の秋、突然、左肩に激痛が襲い動かすことができなくなりました。

元来元気でしたので、当初は「病いは自分の力で治す」と言い聞かせ、整体、鍼灸、温泉・・・いいと思うものは何でもしました。しかし、痛みは一向にひかず一睡もできない日もありました。車はギアチェンジが必要な車でしたがギアまで手がいかないため運転ができません。服の脱ぎ着や洗髪など、とにかく日常生活を送ることがままならない状態が長く続きました。

95%は自分の努力

初日に担当の療法士の人から、「リハビリは95%は自分の努力、私たちは5%のお手伝いだけしかありません」と言われ戸惑いました。また、痛みが激しい時は温めるのは逆効果と聞き、自分が良かれと思っていたことが真逆だと知り愕然としました。

これまでにしたこともない

その頃の私の左肩は術後の安静も重なって殆ど動かすこともできず、脇が赤くただれた状態になっていました。療法士さんが教えてくれた内容は、これまでにしたことのないやり方でした。最初は、左腕が痛くてだるく、痛みの特定ができません。徐々に痛みが消え、関節が少しずつ動くようになり脇の赤みもきれいになりました。



腕の向きに注意した肩のリハビリ

今は、左腕2キロ

の鉄アレイで筋トレしています。もう少しです。

自分の体を理解すること

突然の強烈な痛みに襲われ、自分がこれからどうなっていくのか、仕事はどうなるのか本当に不安でたまらなくなっていました。が、療法士さんがリハビリしながら説明して



高い場所にも手が届くようになりました

てくれることで自分の体を理解し安心して取り組むことができました。

今、左肩に負担がかからないように犬の散歩の時は腰にリードを巻き付けて行きます。洗濯物は肩の状態をみながら竿の高さを調整するようにしました。無理をしないこともリハビリで学んだことです。

私の回復を支えてくれた

病院との出会い

私自身、他の患者さんにも励まされました。挫けそうな時は他の人の様子を見て、頑張らなきゃと言いかせました。やはり95%は自分で治す気構えが必要ということですね。

いい病院との出会いが私の回復を支えてくれました。感謝しています。

ポランティア紹介

「息き活きバンド」

ギター・ボーカル担当 田中 智春



息き活きバンドの皆さん(筆者左から2人目)

「全員参加で大合唱！ながい息をして元気で長生きしよう！」をキャッチフレーズに活動している「息き活きバンド」です。

地域の敬老会、お祭りなどに参加し、私たち自身も楽しませていただいております。懐メロ、童謡、愛唱歌を参加者全員で大合唱すること



大合唱で楽しく発声訓練

平成10年9月、2人で活動をスタートし、現在は5人のメンバーです。ギター、ウクレレ、ハーモニカ、キーボード、ベース、ボーカルなどをそれぞれが担当し、特養、老健施設、デイケア、公民館、

シリーズ「専門職の誇り」



岡本 利恵

奥深い知識と技術が必要な高齢者看護

高齢者看護に携わり20年近くが経ちました。その間、高齢者をとりまく医療・福祉・介護は大きく変化しました。介護保険制度が始まった2000年から5年間ケアマネージャーとして、様々な在宅高齢者とそのご家族に関わり、独居高齢者の増加、老老介護、負担の重い介護にあえぐ家族。その苦悩と疲弊した姿を支えるには自分が無力な存在だと感じることもありました。しかし、現在は看護の現場に戻り、当時担当していた利用者の方やご家族が、いまだに声をかけてくださることもあり貴重な経験として、また励みとなっています。

老健施設の看護師として最近思うのは、例えば循環器や整形外科など各領域でのエキスパートナースはあまた存在していますが、高齢者看護はさらに奥深いと言う事です。高齢者の特徴的な疾患看護、そして認知症の知識・技術も必須です。また、医療だけでなく

なく介護にも関わる重要な力量も求められます。あらゆる分野での経験や学びが活かされ、発揮しなければならぬと常々思っています。この事を毎年、実習に来られる看護学生に伝えながら自分も再認識する機会となっています。患者・利用者の方に癒しを与えながら自らも与えて頂いていることを自覚する日々を送りたいと思っています。

老健あかね

看護師長 岡本 利恵



○お問い合わせ先
倉敷医療生活協同組合
コープリハビリテーション病院
老人保健施設 老健あかね

TEL 086-444-3212 (代表)

受付時間 8:30~17:00
(土日祝・年末年始を除く)

〒712-8024
倉敷市水島北春日町4番3号

ホームページ
http://coopreha.jp/

メールアドレス
info@coopreha.jp

広報委員会
発行責任者 笹舘 勝人

老健あかねは、通所リハビリ・訪問リハビリ・短時間通所リハビリとの連携をしています。